
 **天塩 CC-LaGサイト 熱・水・CO2
フラックス、分光放射、植生指標データ**

1. 識別情報

名称	天塩 CC-LaGサイト 熱・水・CO2フラックス、分光放射、植生指標データ
略称	Teshio CC-LaG Flux dataset
メタデータID	Teshio_Cc_Lag_Flux20230727070234-DIAS20221121113753-ja

2. 問合せ先

2.1 データセットに関する問合せ先

名前	三枝 信子
組織名	独立行政法人国立環境研究所・地球環境研究センター
住所	日本, 305-8506, 茨城県, つくば市, 小野川16-2
電話番号	+81-29-850-2517
ファクシミリ番号	+81-29-850-2645
電子メールアドレス	n.saigusa@nies.go.jp

2.2 プロジェクトに関する問合せ先

2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	国立研究開発法人海洋研究開発機構
住所	日本, 236-0001, 神奈川県, 横浜市, 金沢区昭和町3173番25
電子メールアドレス	dias-office@diasjp.net

3. ドキュメント作成者

名前	三枝 信子
組織名	独立行政法人国立環境研究所・地球環境研究センター
電子メールアドレス	n.saigusa@nies.go.jp

4. データ作成者

名前	高木 健太郎
組織名	北海道大学・北方生物圏フィールド科学センター
電子メールアドレス	kentt@fsc.hokudai.ac.jp

名前	三枝 信子
組織名	独立行政法人国立環境研究所・地球環境研究センター
電子メールアドレス	n.saigusa@nies.go.jp

名前	村山 岳史
組織名	北海道電力株式会社・企画本部・総合研究所

5. ドキュメント作成年月日

2023-07-27

6. データ作成年月日

creation : 2014-03-06

7. データセット概要

7.1 序論

森林の育林過程の炭素循環機能の変化と森林生態系の物質循環過程を観測するために、産官学連携の共同研究として、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター、国立環境研究所地球環境研究センター、及び北海道電力株式会社総合研究所の3機関が、2001年より北海道道北地方の森林において森林生態系の総合観測を実施しています。2001年に天然の針広混交林において観測を開始し、2003年に混交林を伐採してカラマツを植林し、その後、カラマツの生長に伴う森林生態系の機能や構造の変化、およびそれらが炭素をはじめとする各種物質循環プロセスに及ぼす影響をモニタリングしています。あわせて、リモートセンシングによる森林機能の把握、および天塩CC-LaGサイトを中心とした問寒別地域、天塩川流域の炭素動態の広域評価などを実施しています。

7.2 トピックカテゴリ (IS019139)

imageryBaseMapsEarthCover

7.3 時間情報

開始日	2001-08-26
終了日	継続中
時間分解能	30minute

7.4 地理的範囲

北限緯度	45.05
西限経度	142.1
東限経度	142.1
南限緯度	45.05

7.5 グリッド

7.6 地理情報を識別する名称

Toikambetsu, Horonobe-cho Teshio-gun, Hokkaido, Japan

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	Atmosphere > Atmospheric Radiation > Incoming Solar Radiation, Atmosphere > Atmospheric Radiation > Longwave Radiation, Atmosphere > Atmospheric Radiation > Shortwave Radiation, Biosphere > Vegetation > Photosynthetically Active Radiation, Atmosphere > Atmospheric Temperature > Air Temperature, Atmosphere > Atmospheric Water Vapor > Humidity, Atmosphere > Atmospheric Chemistry > Carbon and Hydrocarbon Compounds > Carbon Dioxide, Atmosphere > Atmospheric Winds > Surface Winds, Atmosphere > Atmospheric Winds > Wind Profiles, Atmosphere > Atmospheric Pressure > Atmospheric Pressure Measurements, Atmosphere > Precipitation > Precipitation Amount, Atmosphere > Precipitation > Snow, Agriculture > Soils > Soil Temperature, Agriculture > Soils > Soil Moisture/Water Content, Agriculture > Soils > Soil Respiration, Biosphere > Vegetation, Biosphere > Vegetation > Biomass	GCMD_science
place	Asia > Eastern Asia > Japan	Country
theme	Energy, Water, Spectral Radiation, CO2 Flux, Soil Heat Flux, NDVI, EVI, LAI, CO2 concentration profile, CO2 concentration in the soil air, Stem respiration, Litter fall	No_Dictionary
theme	In Situ Land-based Platforms > GROUND STATIONS	GCMD_platform
place	Asia > Eastern Asia > Japan	Country

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS > Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

7.8 データセットに関するオンライン情報

天塩サイトの概要 : <http://db.cger.nies.go.jp/gem/ja/flux/teshio.html>

国立環境研究所地球環境研究センター・地球環境データベース : <http://db.cger.nies.go.jp/portal/geds/terrestrialMonitoring>

DIASデータファイルダウンロード : <https://data.diasjp.net/dl/storages/filelist/dataset:211>

7.9 データ周辺情報

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
-------	---------	----------

8. 系譜情報

9. 品質等

10. 利用規約

10.1 データ提供者によるデータ利用規約

データ入手方法については必ず国立環境研究所地球環境研究センターにお問い合わせ下さい。データ利用者は、利用に際し、データ作成者と調整が必要です。目的に応じてデータ作成者を共著者にすることを求められます。

10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/terms/>) およびDIASプライバシーポリシー (<https://diasjp.net/privacy/>) が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

11. ライセンス

12. 謝辞の記載方法

12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

12.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表、論文発表、誌上发表、報告などを行う場合は、以下を参考に謝辞を記載すること。また、データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は、それも併記すること。

“本研究では、[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した。またこのデータセットは、文部科学省の補助事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で、収集・提供されたものである。”

13. 参考文献

Takagi K, Kotsuka C, Fukuzawa K, Kayama M, Makoto K, Watanabe T, Nomura M, Fukazawa T, Takahashi H, Hojyo H, Ashiya D, Naniwa A, Sugata S, Kamiura T, Sugishita Y, Sakai R, Ito K, Kobayashi M, Maebayashi M, Mizuno M, Murayama T, Kinoshita K, Fujiwara D, Hashida S, Shibata H, Yoshida T, Sasa K, Saigusa N, Fujinuma Y, Akibayashi Y (2010) Allometric relationships and carbon and nitrogen contents for three major tree species (*Quercus crispula*, *Betula ermanii*, and *Abies sachalinensis*) in northern Hokkaido, Japan. *Eurasian Journal of Forest Research* 13:1-7

Takagi, K., Fukuzawa, K., Liang, N., Kayama, M., Nomura, M., Hojyo, H., Sugata, S., Shibata, H., Fukazawa, T., Nakaji, T., Oguma, H., Mano, M., Akibayashi, Y., Murayama, T., Koike, T., Sasa, K., Fujinuma, Y. (2009) Change in the CO₂ balance under a series of forestry activities in a cool-temperate mixed forest with dense undergrowth. *Global Change Biology*, 15, 1275-1288.